

形成外科について

機能と形態を治してQOLの向上に貢献します

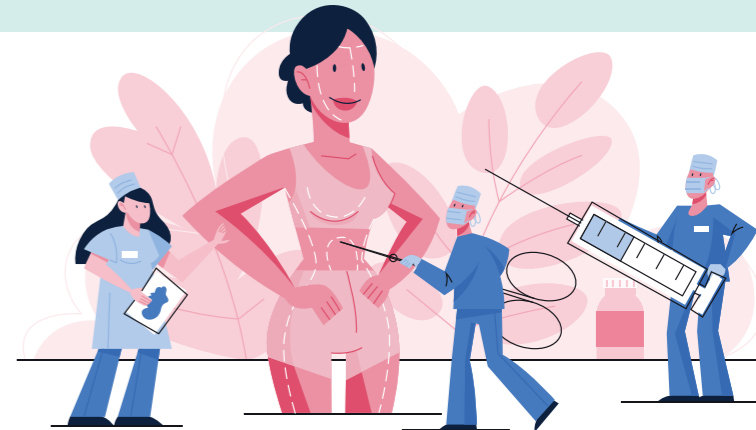
形成外科は、「整形外科」と発音が似ているので混同されやすいですが、体の形を治す外科として他の外科には無い特徴があります。傷をきれいに治したり、癌などで失われた機能を修復して、形を作る外科です。

頭や顔を含むからだ全体を治療対象とし、けが、やけど、ケロイドの治療、皮膚や皮下の腫瘍の切除、生まれつきの変形や異常に対する形成手術、癌や外傷などによる欠損や傷あとに対する再建手術など、大変広範囲に及びます。

ただ治すというだけでなく、きれいに治す、というのが重要で、その技術を応用したものが、いわゆる美容外科です。

機能のみならず、形態的にもより正常に、より美しくすることで、患者さんのQOL(Quality of life/生活の質)向上に貢献します。

今回の特集では、当院で扱う疾患についてのご紹介とともに、白内障と同じ目の加齢現象の一つで、老若男女を問わずQOL(生活の質)を大いに下げる眼瞼下垂症・眼瞼内反症(逆さまつげ)について、5月から治療内容を拡充した美容レーザーについて、ご紹介します。



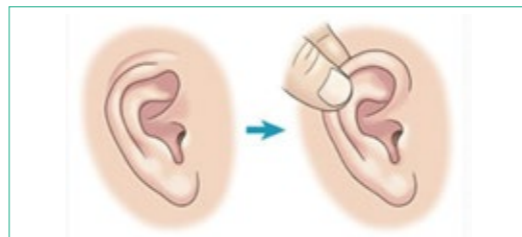
当院の形成外科で扱う疾患

「けが・きずあと」に分類される疾患として、やけど、ケロイドのほか、顔面の骨折、床ずれ、難治性潰瘍と言われるなかなか治らないきず、などを診療しています。

「生まれつきの変形や異常」としては、副耳、埋没耳、耳瘻孔などの耳の変形や、先天性眼瞼下垂、合指症や多指症といった手足の変形などを診療しています。



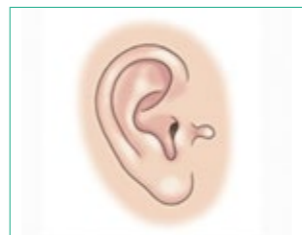
【写真前列 左】 形成外科 専修医 栗原 茉那 Kurihara Mana
 【写真前列 中】 形成外科 部長 谷川 昭子 Tanikawa Akiko
 【写真前列 右】 形成外科 専攻医 松本 奈緒恵 Matsumoto Naoe



埋没耳 (埋もれた耳を指で引っ張ると引き出せる)



耳瘻孔

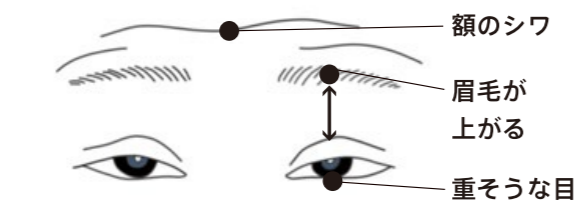


副耳

眼瞼下垂症 (がんけんかすいししょう)

眼瞼とはまぶたのことを指します。眼瞼下垂症とは、上まぶたが下がってくる病気で、NHKの番組「あさイチ」でも取り上げられたことがあります。上まぶたの下がり具合によって、「軽症」「中等症」「重症」に大別され、様々な症状を来しますが、ゆっくりと進行するため、自分では分かりにくいのも特徴です。

【典型的な眼瞼下垂症の外観】



【眼瞼下垂症の重症度】



【軽症】まぶたが虹彩(茶色の部分)にかかる
 【中等症】まぶたが瞳孔(黒目)にかかる
 【重症】まぶたが瞳孔(黒目)に被さる

【原因】

原因は、生まれつきのももありますが、加齢によるものが圧倒的に多く、その他ハードコンタクトレンズを長年使用している人や白内障手術など開眼器を使用した手術の後も発症のリスクがあります。筋肉の動きが伝わらなくなる腱膜性眼瞼下垂が最も多く、上まぶたの皮膚のたるみが併存している場合も多く見られます。その他、顔面神経麻痺などが原因の神経原性眼瞼下垂があります。

眼瞼下垂症の原因	
先天的	
○	生まれつき (片側が多い)
後天的	
○	加齢 (最も多い)
○	ハードコンタクトレンズの長期使用
○	白内障手術など開眼器使用手術の術後
○	脳梗塞や顔面神経麻痺など

【手術の方法】

腱膜性眼瞼下垂の場合は、伸びてしまった挙筋腱膜を本来の位置に縫い直す手術、皮膚のたるみの場合は、余剰皮膚を切除してまぶたのたるみをスッキリさせる手術、神経原性の場合にはまゆ毛の挙上術を行います。

いずれも、機能再建を第一に、かつ「年齢相応の控えめな見た目に」「せっかく手術するならばパッチリ」といったご要望を伺いながら、美しく自然な仕上がりの両立に努めています。



【ルーペ下の手術風景】



眼瞼下垂

眼瞼下垂症手術件数				
2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
19人	24人	30人	41人	46人

眼瞼内反症（がんけんないはんしょう）

眼瞼内反症とは、通称「逆さまつげ」のことです。ま
つげが眼球（角膜）に触れて刺激してしまうという
機能的な問題が生じるため、形成外科で扱う疾患と
なります。

逆さまつげには、小児にみられるものと加齢によ
るものと二種類があり、病態は全く異なりますが、
いずれも角膜に傷が起きたり、刺激により眼痛や流
涙、目やにを引き起こすことがあるため手術が必要
で、どちらも当科で治療が可能です。

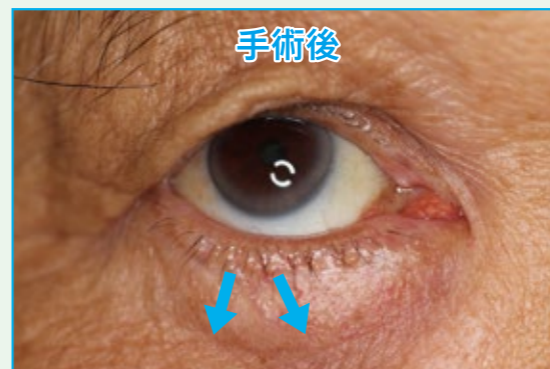
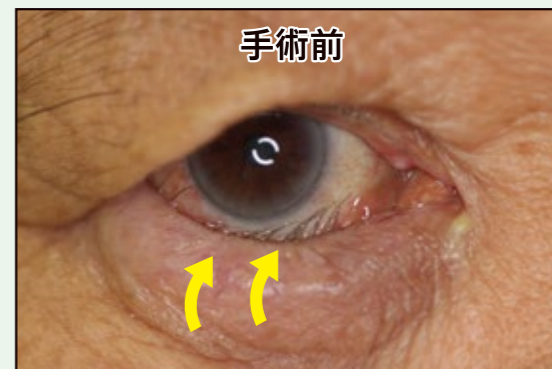
【手術の方法】

手術は、まつげの少し下を切開し、まつげを押し
上げている余剰の組織を切除して、まつげが眼球に
触れないようにまぶたを起こします。手術の傷痕は、
半年ほど経過すると全くといっていいほどわからな
くなります。

過去5年間で、眼瞼下垂症手術
160件、逆さまつげ手術32件を
行い、「見やすくなった」「楽に
なった」「痛くなくなった」「思い
切って手術して良かった」と患者
さんにも大変ご満足いただいで
います。局所麻酔なので、年齢に
関係なく手術可能です（小児の場
合は全身麻酔で行います）。



退行性眼瞼内反症



先天性眼瞼内反症



押し上げられたまつげが眼球に触れ、角膜炎を起こし
ている。

まぶたが起き上がって、まつげが下を向き、眼球に触
れなくなった。

逆さまつげ手術件数

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
2人	4人	4人	13人	9人

美容レーザー

加齢に伴う皮膚や見た目の変化が気になるもの
の代表的なものが、シミ・イボ・ホクロです。これら
は一部を除けば病気ではないので、美容レーザーを
用いた自費診療となります。

マスク生活の影響もあり、これらの除去希望も数
多くご紹介いただいでおり、昨年度は1年間で約
100件のレーザー治療を行いました。今年5月
からは美容レーザーの治療内容を拡充し、良好な結
果と患者満足度を得ています。

【注意点】

魔法の光ではないので消しゴムで消すように取れ
るわけではありません。治療効果が現れるまで数ヶ
月かかることが多く、施術後は遮光や日焼け止め、摩
擦を避けるな
どといった日
常的なケアも
必須です。気
になる方は、
一度受診して
ご相談くださ
い。なお、生活
保護を受給さ
れている方の
治療はお断り
しています。



【外来での美容レーザーの施術】
皮膚の反応を見ながらレーザーをあてる

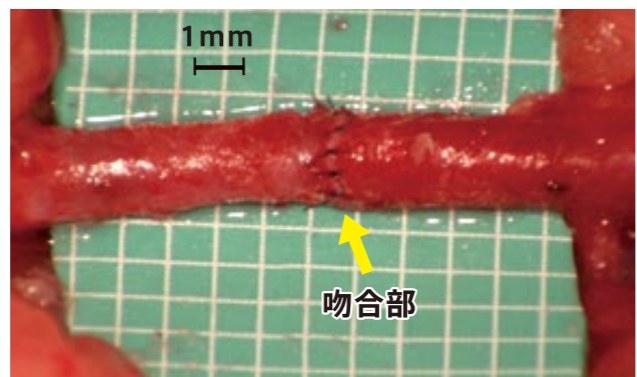
しみレーザー



また、病院の性質上、豊胸術、隆鼻術、重瞼術など、美容外科全般
の診療は行っていません。

形成外科の高度技術「再建手術」「顕微鏡下微小血管吻合」

がん切除後の再建とし
て、乳房再建や頭頸部領
域の遊離組織移植にも力
を入れています。乳房再
建は、患者さんご自身の
からだの組織を使った再
建や、シリコンインプラ
ントによる再建、また医
療用タトゥーによる乳輪
乳頭再建も手がけていま
す。頭頸部再建では、顕
微鏡下での微小血管吻合
技術による遊離組織再建
を行っています。乳房再建、頭頸部再建は、過去3年間でそれぞ
れ56件、26件行いました。



【微小血管吻合】
顕微鏡下で主に直径2mm以下の血管を吻合する

見た目を整える形成外科の治療は、患者さんの精神的な部分に
も大きく関わっています。目に見える、気になることがある方、病
気や怪我を治す際、よりきれいな仕上がりを求める方は、ぜひ上
手に形成外科を受診してQOLの向上に役立ててください。